



下さい。

- ・ハウス側面部に浅い融雪溝用の水路を整備すると融雪効果が高くなります。
- ・除雪機を用いる場合は、作業がスムーズにできるようあらかじめハウス周囲の障害物を取り除き通路を確保しておきましょう。

2. 積雪後の対策

(1) 屋根雪の滑落促進

- ・プラスチック温室では、低温日に雪が屋根面に氷着ることによって屋根雪の滑落を悪くするので、カーテンを開放して4~5℃に室内を加温してください。
- ・ビニールハウス等では、積雪による被覆資材の弛みが直管パイプに引っかかって屋根雪の滑落を阻害するので、積雪が多ならないうちに人力で除雪しておきましょう。特に、天窗は積雪しやすいので注意してください。

(2) 着雪防止・沈降圧防止

- ・被覆資材を除去してあるパイプハウスでは、パイプ交点等雪の残りやすい個所に積もった雪が屋根一面に点在するので、雪を落としてください。
- ・ハウス肩部や腰部のパイプ等が積雪に埋没したままにしておくと、沈降圧によって変形、破損等の原因となるため、早めに掘り出してください。

《大麦》

- ・融雪水が速やかに排水されるように、積雪前に排水溝、排水口（水尻落とし口）を手直しておきましょう。

- ・排水溝は、溝に落ちた土をさらってください。枕地の畝を作った場合には、畝を切って圃場内部から直接排水口に繋がる排水溝を追加してください。

《果樹》

(1) せん定

- ・せん定をしていない樹は、枝に雪が付着し、垂れ下がった枝が積雪に引き込まれる危険性が高くなります。これを避けるために、積雪が始まるまでにせん定を終えましょう。作業が遅れている場合は、全園を回って粗せん定だけでも実施してください。

(2) 幼木・成木の管理（ウメ・カキなど）

- ・ウメ、カキなどの幼木は結束して樹冠を縮めるか、枝吊りを実施してください。成木は主枝などの大枝に支柱をあてましょう。

(3) 棚栽培での管理

- ・ナシなどの棚栽培では棚を補強してください。吊棚は積雪荷重が棚に均等にかからず、少ない雪でもバランスを崩して倒壊する危険性があるので、冬期間は中支柱を入れましょう。

(4) 園内の見回り、雪の払落し等

- ・降雪中や降雪後は園内を見回り、枝に付着した雪を払落し踏圧してください。雪に埋まった樹や枝は放っておくと裂け開くため、速やかに掘り出し、タル木などの支柱をあてて枝を持ち上げましょう。

《畜産》

- ・飼料の在庫確認と購入手当を早めに行い、粗飼料なども含めて給与する飼料が急変しないよう留意しましょう。

- ・畜舎は換気が不十分になるので換気扇、窓の開閉をこまめに実施して、空気の汚染によって生産性が低下しないようにしましょう。

- ・豪雪が予想される場合は、予め畜舎等大型の建物の除雪計画を立てましょう。また、畜舎軒下等においてある機械類は落雪による破損防止のためできる限り屋内へ収納しましょう。

露地野菜 ★秋冬野菜類の残渣の除去

キャベツ、ダイコン、ハクサイ等の収穫を終えた圃場は、翌年の病害虫の越冬場所になる収穫物残渣を圃場外へ持ち出すか、穴を掘って土中深くに埋め戻して下さい。特に根こぶ病になりやすいキャベツ、ハクサイ、カブ等のアブラナ科野菜の根はそのまま放置せず、完全に抜き取り、除去してください。

また、収穫できない生育不良株を春先までそのまま放置してある圃場が散見されますが、これらの株は病害虫にとって格好の越冬場所になるとともに、シカ・サル・イノシシの絶好の餌場となってしまいます。収穫の予定がない場合は一刻も早く根ごと除去し、処分して下さい。

施設野菜 ★軟弱野菜類の管理＝過湿の防止

○生育後半期の水分管理＝葉色が濃くて厚みのある葉にするため、生育後半は灌水を控えて下さい。

○過湿防止＝ハウス内の湿度が高くなると、ハウレンソウはべと病、コマツナは白さび病が多発します。これら病害を防止するため、温暖晴天日は極力天窗やサイドを開き、ハウス内の換気に努めて下さい。

雪害防止対策

近年短期間に急激な降雪となる「集中豪雪」というべき事態の発生により突発的な被害が起こりやすいので、積雪前から余裕をもって雪害に備えることが重要です

《ハウス園芸》

1. 積雪前の対策

(1)ハウスの補強

- ・丸太や竹等をハウス内に持ち込んでおき、降雪が予想されるときは3~4m程度の間隔で支柱を立ててハウスを補強できるようにしておきましょう。支柱の下にはブロックなどを敷いておいてください。

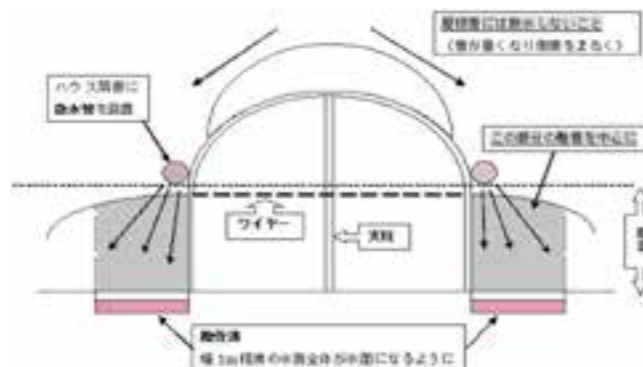
- ・積雪荷重により肩部が広がると倒壊しやすくなるので、ワイヤー等で引き付けておきましょう。ワイヤーの間隔が約6mになると、ワイヤー間中央部ではその効果がほとんどなくなるので、支柱と同等の間隔で張ることが望ましいです。

- ・ジャッキ等を用いて支柱をハウスに固定しておくと、雪の重み等で沈んだ場合の調整が可能となります。

- ・強風に備え、雪対策と併せて防風ネット等を設置しましょう。このとき必要に応じて防風ネットの支柱やネットを補強してください。

(2)融雪・除雪の準備

- ・ハウスの融雪はハウス側面部に堆積した雪に散水して行うため、ハウスの肩面に融雪パイプ（散水管）を設置しましょう。設置してあるハウスは散水ノズルの詰まりを点検してく



水稲

★平成30年産米の倉前検査情報（10月31日現在）

10月31日までの倉前検査結果を掲載します。
 下の図はハナエチゼン、コシヒカリ、あきさかりそれぞれの等級比率及び格落理由です。品種ごとの1等比率はハナエチゼン81.0%、コシヒカリ78.1%、あきさかり83.3%となりました。等級の格落理由は、ハナエチゼンとあきさかりではカメムシでの格落が目立つ結果となり、コシヒカリでは心白粒（乳白粒）や未熟粒などが格落の理由となりました。

